

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●青森県日本海沿岸の漁獲量は、スルメイカが依然不漁で、過去4年平均の46%に留まった。定置・底建網によるサバは同2.7倍と好調であった。	●9月の表面水温はかなり低めとなった ●7月30日、下前沖でユウレイイカが捕獲された。	特になし	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●7月下旬に男鹿の定置網でクロマグロ(10～20kg)が大量に漁獲。	●9月にオオサルバが県全域の底びき網に入網。県北部海域で特に多い傾向。(発生は7月頃から)	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●サワラが9月にはえなわ漁業で57トン漁獲された。(平年比805%)	特になし	特になし	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	特になし	●新潟漁業協同組合西蒲支所の漁業者から、9月に入って曳き網にヒトデが大量に入るようになったとの連絡があった。海域は大河津分水河口から新潟市沖の水深140m前後。当所で種を同定したところ、マヒトデ(キヒトデ)であった。10月に入ってもまだヒトデは見られるが、その海域を避けて操業しているとのこと。	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●さば類(中小さば銘柄)が豊漁。大型定置網では、過去10年平均と比較して、7月(22.7トン)は8.1倍、8月(33.1トン)は6.0倍、9月(80.0トン)は7.1倍。 ●ブリ当歳魚(つばす銘柄)が貧漁。大型定置網では、過去10年平均と比較して、7月(4.4トン)は12.3%、8月(51.2トン)は55.4%。	●9月にヒョウモンタコが1個体採捕された。(10月には2個体採捕)	特になし	●T1515(台風15号)による急潮被害が発生。

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	特になし	●9月に入ってもソデイカの漁獲がほとんどなく、深刻な不漁。	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	【境港まき網】 ●マイワシ 近年ではマイワシの水揚量は6～8月にかけて減少する傾向であるが、7～9月の水揚量は、7,727と前年(75t)を大きく上回るとともに、1997年以降で最も多い水揚量となった。これは、夏季も島根沖冷水の勢力が強く、マイワシの好む冷水域が維持されたためと考えられる。 ●マアジ 8月単月の水揚量は、873tと非常に少なく、1995年以降で2012年(485t)に次いで少なかった。これは、新規加入量(稚魚)調査結果で予測されたとおり、当歳魚の加入量が低かったためと考えられる。 ●クロマグロ(まぐる銘柄) 7月単月の水揚量は、550t(2013年592t、2014年326t)と好漁ペースで水揚げされ、漁期中の総漁獲量が自主規制量(ラウンド重量1,800t)にほぼ達したため、7月22日の水揚げをもって漁期を終了した。	特になし	特になし	●8月7日に夏泊の小型定置網に体長約6mのジンベイザメが入網し、放流された。

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●例年、8月下旬から始まるアカイカは9月末まで殆ど漁獲がない。	●有害赤潮プランクトン(コクロディニウム・ポリクリコイデス)が9月29日に0.03細胞/ml観測されたが、水産被害は無かった。	特になし	特になし

機関名: 鳥根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●中・小型まき網における7～9月のマイワシの漁獲量は平年の10倍の水揚げで、2005年以降、最大の水揚げとなった。一方、マアジは平年の54%と低調。 平年:過去10年平均	●浜田、恵曇地先水温では、7月の平均水温は1995年以降最低の水温となった。 ●7月に有害植物プランクトンの一種である <i>Karenia mikimotoi</i> による魚介類のへい死が確認された。	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成27年 7月～9月	●8月に中型まき網でマサバの好漁があった。(本年291トン、前年2トン、平年48トン)	●7月31日から8月24日にかけて日本海沿岸域において、カレニア ミキモトイによる赤潮が発生した。当該期間中、長門市、萩市、阿武町において蓄養中のアワビ、サザエ等が斃死した(詳細不明)。	特になし	特になし